Vol. 26 No. 4 Dec. 1978. ISSN 0038-1578

# The Japanese Journal of PHYCOLOGY

Continues Bull. Jap. Soc. Phycol. 25

## CONTENTS

**Kazutosi Nisizawa, Hiroshi Anzai** and **Yuji Okuzawa**: Glutamate dehydrogenase of a green alga, *Bryopsis maxima* ..... 145

**Akemi Kageyama** and **Yasutsugu Yokohama**: The function of siphonein in a siphonous green alga *Dichotomosiphon tuberosus* ..... 151

**P. M. Sivalingam**: Effects of high concentration stress of trace metals on their biodeposition modes in *Ulva reticulata* FORSKAL ..... 157

**P. M. Sivalingam**: Algal succession patterns on the rocky shores of Batu Ferringhi in Penang Island ..... 161

**Kazuyuki Miyaji**: On *Litosiphon yezoensis* YAMADA et NAKAMURA ..... 165

**Hiromu Kobayasi** and **Tamotsu Nagumo**: On the fine structure of the pennate diatom *Semiorbis hemicyclus* (EHR.) PATR. ..... (in Japanese) 171

**Takeo Ohmori** and **Eriko Suemura**: An analysis of tetraspore development in *Dictyopteris divaricata* IV. Effects of the wave length on the rhizoid formation ..... (in Japanese) 177

**Masaki Tanaka**: The plankton algae of "Tame-ike" ponds in the suburbs of Nagoya, Japan (4). *Oocystis*, *Palmellocystis*, etc. ..... (in Japanese) 181

**Tuyosi Oohusa, Shigeru Araki, Takemaro Sakurai** and **Munekatsu Saitoh**: Diurnal variations of the photosynthetic pigments, total nitrogen and total nitrogen/total carbohydrate ratio of cultivated *Porphyra* thalli and their relationships to the quality of dried Nori ..... (in Japanese) 185

**Notes**

**Tadao Yoshida**: Professor Feldmann, in memoriam ..... (in Japanese) 155

**Mitsuo Chihara**: Jean Feldmann, 1905-1978 ..... (in Japanese) 170

**Hiromu Kobayasi**: The guide to the bibliographic citation of botanical literature ..... (in Japanese) 175

News ..... 184, 187

Book reviews ..... 180

Announcements ..... 150, 188

THE JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

# 投　稿　案　内

**Ⅰ．編集の方針**　本誌には藻学と応用藻学に関する会員の**未発表**の，論文・総説・短報（速報・短い調査報告など）雑録（抄録・採集地案内・分布資料・ニュース・所見・新刊紹介など）を掲載します。論文はデータや考察の独創性の有無に重点を置いた編集委員会の審査を経たのち受理されます。原稿の取捨掲載順序，体裁などは編集委員会および編集幹事で決めます。原稿は**和文**または**英文**とし，論文と総説は刷上り6頁，短報は2頁，雑録は1頁以内を無料とします。頁の超過は制限しませんが，頁の超過分，折込み，色刷りなどの費用は著者負担となります。和文原稿では5枚が，英文原稿では2枚が刷上り1頁となる見当です。

**Ⅱ．報文の書き方**　和文原稿は400字詰原稿用紙（横書きB5またはA4）に，当用漢字，新仮名使い（生物名は片仮名）を用い楷書体で書いて下さい。英文原稿は厚手タイプ用紙を用い，ダブルスペースで28行にタイプで打ち，十分な英文添削または校閲を経たのち提出して下さい。新種の発表や学名の記載に当っては国際植物命名規約に従って下さい。なお，アラビア数字・メートル法・摂氏温度を用い，学名などのイタリック体には下線1本，人名などのスモールキャピタルには下線2本，ゴジック体には波状線1本を記入して下さい。

**例：** Batrachospermum ectocarpum Sirod., Summary, sec, min, hr, nm, μm, mm, cm, m, μl, ml, l, μg, mg, g, N, M, ppm, lux, g(gravity), 25°C など.

原稿は，標題・英文要約（和文・英文原稿共）・本文・引用文献・和文摘要（英文原稿のみ）・表と図とその説明（英文）の順にまとめて1組とし，コピー共2組（写真は現物2組）にしてお送り下さい。

(1) **標題と要約**　英文原稿では，欄外見出し・標題・著者名・要約の順に，和文原稿では，欄外見出し（英）・標題と著者名（和と英）・要約（英）の順に記入して下さい。要約は著者名・標題・雑誌名・まとめ（200字・必要に応じて400字まで）・著者と宛先の順に記入し，研究費に対する謝辞は脚注に入れて下さい。

(2) **本文**　標題紙に記した以外の謝辞は，なるべく本文の末尾に入れて下さい。表と図は必ず本文中に引用(Fig. 1, Table 1 のように）し，文献の引用は次の例にならって，著者名と出版年および必要に応じて頁（単行本の場合）を明示して下さい。

**例：** ····aquatic ecosystems (WELCH 1972, 1974), Liebig's (1840 p. 23) "low of the minimum" is····, ····が知られている (YAMADA 1949), 岡村 (1907 p. 56) は,

(3) **引用文献**　本文中で引用した文献のみを，別紙にアルファベット順に列挙して下さい。引用は，①原著の引用と，②図書目録を見て目的の書物を捜し当てるための引用の2本立てとし，それぞれが イ）著者名 ロ）出版年 ハ）標題（巻次を含む） ニ）対照事項（頁・図など） ホ）出版事項（出版者・出版地）のうちの必要部分からなるよう順を追って下例にならって記入して下さい。

(単行本)　①，②共通　広瀬弘幸[イ] 1959.[ロ] 藻類学総説.[ハ] 内田老鶴圃，東京[ホ].

(単行本中の1章)　①DREBES, G.[イ] 1977.[ロ] Sexuality.[ハ] p. 250-283.[ニ] ②*In* D. WERNER [ed.][イ] The biology of diatoms.[ハ] Blackwell Sci. Pub., London.[ホ]

(叢書中の分冊)　①HUSTEDT, F.[イ] 1930.[ロ] Bacillariophyta.[ハ] ②*In* A. PASCHER [ed.][イ] Sübwasser-Flora Mitteleuropas. ed. 2. No. 10.[ハ] Gustav Fischer, Jena.[ホ]

(雑誌の中の1論文)　①森　通保[イ] 1970.[ロ] *Batrachospermum ectocarpum* SIROD. の分類学的研究.[ハ] ②藻類 8[ハ]: 1-8[ニ]

①MORI, M.[イ] 1975.[ロ] Studies on the genus *Batrachospermum* in Japan.[ハ] ②Jap. Journ. Bot. 20[ハ]: 461-485.[ニ]

(4) **和文摘要**　英文原稿の場合のみ，和文で，著者名・標題・宛先も入れ400字以内にまとめて下さい。

(5) **表と図およびその説明**　英文で書き，表と図は**印刷頁**の寸法（14×20.5 cm），特に横幅（全幅 14，片段 6.6 cm）を考慮し，原寸大または縮小したとき**印刷頁**におさまる大きさに仕上げ，図には倍率を示すスケールを入れ，線や記号，文字，数字はタイプライター，レタリング用具などを用い黒インキで鮮明に記入し，そのまま印刷に廻せるようにして下さい。なお，特に表の組版を希望の場合はその旨明記して下さい。表と図の裏には著者名・番号・希望縮尺を記入して下さい。表と図の説明は別紙とし，それを入れる場所を本文原稿左欄外に明示して下さい。

**Ⅲ．校正と別刷**　著者校正は初校のみとし，編集幹事から送りますので，3日以内に校正して同封の別刷申込書に所定の事項を記入して返送して下さい。別刷は，論文・総説・短報に限って50部を学会で負担します。